



静岡市立清水病院

開設者／静岡市

所在地／〒424-8636 静岡市清水区宮加三1231番地

URL／<http://www.shimizuhospital.com/index.html>

病床数 463床

医師数 81名

指導医数 18名

入院患者／日 305名

外来患者／日 858名

救急医療／日 11名



病院長
上牧 務



当院は、標榜科目26科、463床を有し、清水区域（人口23万人）の急性期医療を行う救急センター（平成27年度にHCU稼働）を備えた、地域密着型の基幹病院です。

病院理念「患者中心の良質な医療を提供するとともに、地域医療の向上に貢献することを目指します」のとおり、患者、家族、医療者がひとつになったチーム医療を実践しております。

基幹型臨床研修病院、救急告示病院、地域医療支援病院、災害拠点病院などに指定され、多数の学会の認定施設であることを生かして、初期研修医のみならず後期研修医の教育にも力を注いでいます。

診療科目

内、精、神内、呼内、消内、循内、血内、小、外、乳腺、消外、血外、整形、脳外、呼外、皮、泌、産婦、眼、耳、リハ、放、放治、歯外、麻、病理

病院からのメッセージ

【病院長より】

研修医の皆さんを迎えるにあたって当院では、本人の意欲、能力、そして体力に応じて、実地医療の現場に入っていただき、指導医とともに日常診療に参加しつつ、医療技術の習得を目指してゆく方針です。

研修医の皆様が安心して研修に集中できるよう、給与、住宅等の環境面も十分に整っています。

【臨床研修プログラム責任者より】

当院は静岡市清水区にあります。静岡駅から車で20分、東名高速清水ICから15分の日本平のふもと、富士山を望む病床数463床の中核病院です。募集定員は6名と少人数ですが、常に指導スタッフに見守られて風通しの良い環境で研修ができます。

最新のシミュレーション機器を備え、研修医向けのメディカルコンテンツ配信システムを導入など、臨床研修を支援する環境も整っております。

また、教育研修・病院事業管理室では研修医の先生方を研修面から生活面に至るまでさまざまな側面からサポートしますので、安心して研修ができます。

処 遇

身分	研修医			
給 与	1 年 次 基 本 給 / 月	313,664円	2 年 次 基 本 給 / 月	323,292円
	1 年 次 賞 与 / 年	808,496円	2 年 次 賞 与 / 年	1,282,020円
	諸 手 当	時間外手当、宿日直手当、医務手当(月 55,000円)、病院勤務手当(月 14,200円)		
	1 年 次 基 準 支 給 額 / 年	5,402,864円	2 年 次 基 準 支 給 額 / 年	5,991,924円
宿 舎	民間住宅を病院で借り上げ（一部負担あり）		当 直	月 4 回（平均）
保 険	社会保険・厚生年金・雇用保険・医師賠償責任保険・労災保険等			

臨床研修医(初期研修医)の研修プログラム

- **プログラム名** 静岡市立清水病院臨床研修プログラム
- **募集定員** 6名(予定)(令和6年度採用数6名)
- **協力型病院** (循環器内科) 浜松医科大学医学部附属病院、静岡市立静岡病院
(精神科) 日本平病院、清水駿府病院
- **協力施設** (地域医療) 清水区内診療所10施設

プログラムの特色

プライマリ・ケアの基本的診療能力の獲得のみならず、医師としての人間性の育成を目指した研修を行う。基本的な診療能力(態度・技能・知識)を、内科(一般外来含む)、救急(麻酔科含む)、外科、小児科、産婦人科、精神科、地域医療の研修により習得する。その後のローテーションは、研修医の希望による選択科目又は必修科目の選択によって研修が行われる。二次次に行う地域医療研修は、在宅医療等を実施している近隣の診療所(10施設のいずれか)で行われ、一般外来及び在宅医療等の研修を実施する。また精神科研修は、協力2病院のいずれかの病院にて行う。希望による循環器内科の研修は、浜松医科大学医学部附属病院又は静岡市立静岡病院のいずれかの病院において研修を実施することも可能としている。選択科目として内科の各専門科(一般内科、神経内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科)、外科(一般・消化器)、整形外科、泌尿器科、皮膚科、脳神経外科、放射線科(治療・診断)、眼科等を選択する。それ以外に将来の進路にあわせて本人の希望に応じた科の選択も可能である。必修科目を再度選択することも可能。関連する病院や施設の協力を受けながら、より質の高い研修が行われるように配慮されている。

研修スケジュール(2年:52週)

1年次スケジュール	内	内	内	内	内	内	内	内	救急	救急	救急	必修科	必修科
2年次スケジュール	必修科	必修科	必修科	地域	自由選択(整形外科・皮膚科、泌尿器科、脳神経外科、放射線科等、必修科)								

※救急科研修中に麻酔科(一ヶ月)を研修。

※必修科(一般外来研修含む)は外科、小児科、産婦人科、精神科の分野を研修する。

臨床研修医の感想

内科、外科、麻酔科、救急をローテーションした1年間を振り返ると、非常に充実した研修生活を送ることができたのではないかと思います。

清水病院で研修して良かったことは、先生方の科の垣根が低く、気軽にコンサルトに乗っていただけることです。おかげで症例ごとに上級医、指導医の先生方から充実した指導を受けることができました。また、気管挿管、胸腔穿刺・ドレナージ、中心静脈穿刺などの基本的な手技も十分に経験・習得することができました。このような手技を習得、上達するにはやはり経験を重ねることが大切だと思いますが、『研修医にたくさん経験を積ませてあげよう』という指導医の先生方の温かいご配慮により、当院では十分に経験することができると思います。

休みの日は先生方、看護師さん、技師さんたちとフットサル、ゴルフ、ボーリング、マラソンなどで楽しく汗を流したり、本当に美味しいお寿司屋さん連れて行っていただいたり、しっかりリフレッシュできました。

このような恵まれた環境で、有意義な研修生活を送らせていただいています。

医学生の皆さん、ぜひ一度、見学に来てみてください。きっとうちの病院の良さに気づいていただけるとと思います。

1年目は内科、麻酔科、救急、外科を研修しました。また、月に内科2回、外科2回の当直もありました。

研修が始まったばかりのころは、採血・ルート確保を朝早く病院に出向いて練習しました。同期の仲間や優しい先輩医師に恵まれ、分からないことなどをよく相談に乗っていただいたものです。

当直ですが、内科は救急における鑑別疾患が難しかったと思います。市中病院の特徴ですが、研修医がファーストタッチをします。しかし内科をラウンドしているときには予習・復習になり、とても勉強になると思います。

将来、外科志望の私にとって特に印象的だったことは、外科での3ヶ月の思い出です。市中病院の特徴でありますが、しっかりと仕事をを行い、前に出れば手術の執刀を指導医のもと、させていただけです。先に麻酔科をラウンドしていたので、ルンパールもよくやらせていただきました。厳しくも優しい先生方に指導していただきました(下ネタあり)。見学に来れば、術野に入り何かできるでしょう。ぜひいらしてください。

最後に、街並みですが、天気が良いと富士山がきれいに見えます。また噂どおり、魚も美味しいです。一押しはなんとと言ってもきれいな海岸沿いの景色!よくアローンで眺めていました。静岡にいらした際にはぜひ当院を見学してください。

応募手続

応募資格	医師国家試験を受験する者で、マッチングシステムに参加する者			
必要書類	履歴書、卒業(見込)証明書、健康診断書			
募集締切	2025年7月下旬から9月初旬(日時はホームページでお知らせします)			
選考方法	面接・筆記試験			
選考時期	2025年7月下旬から9月初旬(日時はホームページでお知らせします)			
応募連絡先	担当課	教育研修・病院事業管理室	担当者	石原 智彦
	TEL	054-336-1111	FAX	054-334-1173
	E-mail	smz-hsp-keiei@city.shizuoka.lg.jp		